

## 道新青葉中央販売所だより

2020/ 2/5



発行元:(株)道新販売センター 青葉中央販売所

〒004-0021 厚別区青葉町6丁目1-33 ☎0120-881-365 FAX891-3486

営業時間 平日:9時~20時 日祭日:9時~12時

## 厚別 フラ歩き #29 ひばりが丘 2

前回の記事(12/5号、第28回)で謎かけをしました。1916(大正5)年の地形図に載っている神社記号のうち、現在その場所に神社がないものはどれか?です。答えは図1の位置です。現在図でいうと、図2の赤い●を付けたあたりになります。現在の町名は厚別区厚別中央3条2丁目です。大正時代は白石村旭町でした。「旭町」という地名は、白石村が札幌市と合併した後も続きます。このあたりでは1982(昭和57)年に「厚別中央」に変えられました。現在、行政地名としては「旭町」は存在していません。また、今号のタイトルに付けた「ひばりが丘」も、行政地名ではなく通称地名です。付近には「ひばりが丘」を冠する建物がいくつかありますので、タイトルにはその地名を使います。

さて、この場所にあった神社は「旭町神社」といいます。「阿部神社」とも呼ばれたそうです。明治時代、この一帯で農場を拓いた阿部仁太郎にちなみます。神社は仁太郎が祀ったものです。旭町神社は1944(昭和19)年、信濃神社に合祀されました。図3は、神社があったあたりの現在の風景です。国道12号のバス停には「旭町」という名前が今も残っていますが、神社らしいものは見当たりません。ところが、この一角で私は小さな祠を見つけました。図4です。祠は、ある会社のビルの屋上に祀られています。その場所は大正5年地形図に記された神社記号の位置の近くです。祠と旭町神社は何かつながっているのではないか。私は想像を膨らませました。

(地域史研究者 杉浦正人)

参考資料:札幌市教育委員会『さっぱろ文庫39 札幌の寺社』1986年、p.271、『厚別開基百年史』1982年、pp.38-39、p.151、関秀志編『札幌の地名がわかる本』2018年pp.76-77

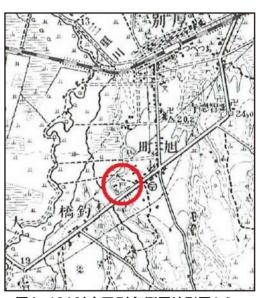


図1 1916(大正5)年測図地形図から



図2 現在図(図1のあたり)



図3 「旭町神社」があったあたり



図4 厚別中央3条2丁目のビル屋上にある祠

#### 道新 青葉中央販売所は献血活動を応援しています

## 命を救うボランティアみんなで献血へ行こう!



★みなさまの血液は、誰かのしのちに繋がります★

~A型・O型・AB型の不足に非常に困っています~

### ~新さっぽろ献血ルームのご案内~

- ◇厚別中央2=5 Duo(デュオ) 地下1階
- ◇受付時間 ①10:00~13:00 ②14:00~18:00

★休憩スペースにはクッキーなどお菓子をご用意しております。また、 キッズスペースも充実!安心して献血しただけます。



※北海道赤十字センターHPより転載詳しくは北海道赤十字センターHPにてご確認下さい。https://www.bs.jrc.or.jp/hkd/hokkgido/

### 販売所からのお知らせ

毎年好評の『病院』本、新年度版いよいよ発売!

道新DP

# 北海道の 病院2020

#### 手術数・治療数ランキング

胃がん、肺がん、大腸がん、肝がん、膵臓がん、 胆道がん、乳がん、子宮がん、子宮体がん、 卵巣がん、腎がん、前立腺がん、膀胱がん、 食道がん、白血病、甲状腺がん、放射線治療、 脳卒中、脳腫瘍、心臓疾患、不整脈、目の病気、 耳の病気、整形外科、形成外科、肛門科、小児外科

がん

- ・北海道がん治療の最新情報
- ・ 患者と家族への心のケア

#### ◎特集

- ●どうなる地域医療
- ●「呼吸のヨガ」マインドフルネス入門
- ●安眠を妨げる「レストレスレッグス症候群」とは
- ●患者体験談

古村比呂(女優)、梅沢俊(植物写真家)ほか

- ●がん患者がつづる「緩和ケアのいま」
- ●歯の健康 オーラルフレイル

全病院+おもな診療所リスト

#### 2020年2月20日発売 定価880円(本体800円+税)



申込み お問い合わせは #道新販売センター 青葉中央販売所

フリーダイヤル:0120-881-365